\Orchestrating a brighter world



サーバ稼働分析サービス ユーザマニュアル

Revision 1.1 2023年8月

日本電気株式会社

表紙	i
目次	2
商標	について3
ご注	意3
関連	文書/関連サイト
改版	履歴4
用語	集
1.	はじめに
1.	1 サーバ稼働分析サービスとは
2.	サーバ稼働分析サービスのご利用について
2.	1診断内容6
2.	2 提供条件・対象サーバ・対象 OS、ご利用に向けた事前準備7
2.	3 参照方法について
3.	サーバ稼働分析サービスの説明
3.	1 サーバ稼働分析サービス TOP ページ
	3.1.1 サマリー
	3.1.2 各種診断メニュー10
	3.1.3 診断月情報
	3.1.4 お知らせ10
	3.1.5 更新ボタン・全画面表示ボタン10
3.	2 リソース将来予測11
	3.2.1 一覧表示
	3.2.2 詳細結果
3.	3SSD 寿命予測
	3.3.1 一覧表示
	3.3.2 詳細結果
3.	4 構成情報診断
	3.4.1 一覧表示
	3.4.2 詳細結果
4.	お問い合わせ先

目次

商標について

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 弊社の許可なく複製・改変を行うことはできません。
- 運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承ください

関連文書/関連サイト

名前	掲載先
ExpressSupportPack G4	http://jpn.nec.com/express/supportpack/espg4
サーバ診断カルテモジュール・	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809
セットアップガイド(Windows 対応版)	
NEC サポートポータル	https://www.support.nec.co.jp/
NEC サポートポータル MyDashboard	https://mydashboard.support.nec.co.jp/dashboard/

改版履歴

日付	Revision	変更内容
2023/06/26	1.0	初版リリース
2023/08/23	1.1	サーバ一覧の記載内容修正、および誤記修正

用語集

用語	意味
サーバ診断カルテ	お客様の対象機器の情報から、サーバの稼働状況を可視化し、情
	報提供するサービス
NEC サポートポータル	NEC 製機器・システムの導入・運用に至るサービス情報を公開す
	るポータルサイト
NEC サポートポータル MyDashboard	サポートサービスのご利用状況やお役立ち情報など、サポート
	サービスにおける各種情報を表示するダッシュボード

1.はじめに

本資料は、NECの Express5800 シリーズの保守サービス(ExpressSupportPack G4)の一機能として提供される、 「サーバ稼働分析サービス」の利用方法を記載したものです。

1.1 サーバ稼働分析サービスとは

「サーバ稼働分析サービス」は障害の未然防止に繋がる情報、お客様の持つ HW の中長期的な状況予測などを提供し、お客様の保守運用効率化を支援するサービスです。

お客様環境にある「サーバ診断カルテ」導入済みの NEC の Express5800 シリーズから、前月までの構成情報およ びリソース情報を収集・蓄積します。その蓄積したデータをもとに運用上必要な対処内容を月に1度、当月下旬に NEC サポートポータル MyDashboard にて掲載します。



2.サーバ稼働分析サービスのご利用について

本章では、サーバ稼働分析サービスの提供対象やご利用開始までの流れについて説明します。

2.1 診断内容

サーバ稼働分析サービスでは、以下の3つの診断を提供します。

診断メニュー	診断概要
リソース将来予測	過去のリソース推移を基に将来のリソース使用を推測します。リソースが逼迫す
	るリスクを早期で発見し、計画的なリソース使用計画にご利用いただけます。
SSD 寿命予測	過去の使用傾向を基に交換時期の目安を提示します。
	早期交換計画に活用いただくことで、スムーズな移行およびシステムの不具合発
	生の未然防止に貢献します。
構成情報診断	サーバに搭載されているファームウェアのバージョンと公開されている最新バージョ
	ンを比較し、脆弱性対策がされたバージョンがある場合、対策がされたバージョンの
	情報とその内容についての情報を提供します。脆弱性対策にご利用いただけます。

各種診断メニューは、サーバ診断カルテから収集した前月までの各サーバの稼働データに基づき診断を行います。 診断を実施するためには、サーバ診断カルテの利用開始から一定期間(下表、「学習期間(最小)」)のデータが必要 となり、データ蓄積期間が学習期間(最小)に満たない場合は対象外の状態として掲載されます。診断結果は、デー 夕蓄積期間が学習期間(最小)に到達した翌月から掲載されます。また、学習期間(最大)までデータを蓄積した後 は、診断月から「学習期間(最大)」まで遡ったデータを利用し、診断を行います。

診断メニュー	学習期間 (最小)	学習期間 (最大)
リソース将来予測	1か月間	6 か月間
SSD 寿命予測	1週間 (予測には1か月分必要)	12 か月間
構成情報診断	1週間	1週間

2.2 提供条件・対象サーバ・対象 OS、ご利用に向けた事前準備

本サービスの提供条件、対象サーバ・対象 OS およびご利用に向けた準備事項は以下に記載しています。 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170102814 なお、本サービスは NEC サポートサービスアプリからもご利用いただけます。 NEC サポートサービスアプリの詳細は 下記をご参照ください。

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3030100358

2.3 参照方法について

本章はサーバ稼働分析サービスの参照方法を記載します。なお、画面イメージは予告なく変更される場合があります。 1.以下の URL をクリックし、NEC サポートポータル MyDashboard にアクセスします。

https://mydashboard.support.nec.co.jp/dashboard/

2.NEC サポートポータルに登録しているユーザ ID およびパスワードを入力し、「個人情報の取り扱い」に同意した

NEC \Orchestrating a brighter world	NECサポートポータル MyDashboard	
	ログインしてください	
	ユーザID stuser16	
	パスワード	
	☑ 個人情報の取り扱いに同意します。	
	ログイン	

ログインした際に、NEC サポートポータルにおける個人情報の取り扱いに関する同意を求められることがあります。個 人情報の取り扱い内容について確認いただき、同意できる場合のみ画面左下の「同意する」のボタンをクリックしてく ださい。

NECサポートポータルにおける個人情報の取り扱いについて		
NECサポートポータルにおける個人情報の取扱いについて		Í
個人情報を取得させてい 日 (役職名)日本電気検式会社 サポートサー (連絡先)下記「6、本件に関する別	、ただく事業者 よ電気株式会社 青報保護管理者 ごス事業部門長 司い合わせ先」	
NECサポートボータル(NECサポートサービスアプリを含む。以下NECサポートボータルと呼ぶ。)でご提供いただきま に関しましては、日本電気株式会社『個人情報保護』と、以下に基づき、透切な管理に努めてまいります。	した個人情報	
 利用目的 ご提供いただいた個人情報は、以下の目的に利用します。 	,	,
同意する	キャンセル	

- 「ログイン」ボタンをクリックします。
 ※ユーザ ID、パスワードを忘れた場合は、以下を参照ください。
 [FAQ]ユーザ ID やパスワードはどのように連絡されますか?
 http://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3150103246
- 4.NEC サポートポータル MyDashboard の画面内、「サーバ稼働分析サービス」のパネルを確認します。初回口 グイン時は、サービスの利用規約が掲載されています。利用規約を確認いただき、同意する場合はパネル内の 「利用規約に同意する」にチェックを付けます。その後、「次に進む」をクリックします。パネルの詳細は、「3. サーバ稼働分析サービスの説明」を確認してください。

C (oren	estraung a originer world		NECサポートポータル MyDashboard	💄 評価利用者
♥ お知らせ				
 MyDashbo 	oardがリリースされました。			
	技術的なお問い合わせ 	øs	サポートパック/パンドルの終了	コンテンツ情報 🛛 📿
	イベント・製品情報	0 0	サーバ稼働分析サービス 🛛 🖸	
时,	タイトル	:	サービス利用規約	
2022/03/11	最先端DXウェビナーのお知らせ		サーバ稼働分析サービス 利用規約	
2022/03/09	DXを加速するデザイン思考		本規約は、日本電気株式会社(以下、「NEC」といいま	
2022/03/07	WebOTX Application Serverシステム構築	ハンズオン	す。)が提供するサーバ稼働分析サービス(以下、「本サービス)といいます。)の条件、収集情報の取り扱い等について定	
2022/03/02	JobCenterセミナー開催		めます。本サービスを利用するためには、お客様は本規約に同 意する必要があります。	
			 キサービスの内容 キサービスは、Express5800シリーズ製品(以下、「対象機 路」といいます。)に関する情報を見供し、お客様の保守運用 か用化を登せるサービスです。 (1) 提供内容 対象機能見について、建善の未然防止に脳がる情報、リソ ースの中を発音列、を含む運用のお伦立ち情報を提供します。 ***-ビスのお島地端上が提供地域が、下応のJURLを参照とが □ 利用規約に開業する 	
			ID NEC Coreardian 1994	a) 🖽



3.サーバ稼働分析サービスの説明

3.1 サーバ稼働分析サービス TOP ページ

サーバ稼働分析サービスのサマリーページは以下の項目で構成されています。

			サーバ稼働	分析サービ	2	0 0	
1	サマリ						٦
1	リソース将来予	3					
	I.R.		NC RE	2.8		刘泰外	
	٥		0	1		0	
	SSD寿命予测						L
	I.R	-	東京	7-	夕重模中	对象外	L
	1	0	٥		0	٥	L
							L
	構成情報診断						
	81	リスク低	リスク中	リスク高	リスク不明	对象外	
	0	0	0	1	0	0	
3	診断月 2023年06月	- 14)					ן
4	お知らせ 本診断は月に一 初回の診断結果 ※なお、対象機 グは異なります	-回実施してお 見は、2023年0 覚器からのデー 「。	ります。 7月20日頃に掲 ウタ収集状況によ	載します。 にって、実際に	診断結果をご提	供するタイミン	
	サーバ稼働分析 https://www.s	fサービスの利 upport.nec.co	用ガイドや利用 .jp/View.aspx?	月規約は、以下 lid=317010281	のページをご参 14	照ください。	
1.+	ナマリー						-
2.名	5種診断メニ	ユー					
3.郬	诊断月						
0.0							

- 4.お知らせ(次回更新日の案内、利用規約へのリンク)
- 5.更新ボタン・全画面表示ボタン

3.1.1 サマリー

「リソース将来予測」「SSD 寿命予測」「構成情報診断」における診断結果の概要を示します。ここでは、各 状態に該当するサーバの台数を示しています。ログインユーザに紐づく装置のうち、ExpressSupportPack G4 加入していただいているサービス提供対象装置が対象となります。

また、各種診断メニューにおける状態の定義は異なります。状態に関する説明は、「3.2 リソース将来予測」、 「3.3SSD 寿命予測」、「3.4 構成情報診断」の各種診断メニューの説明にてご確認ください。

3.1.2 各種診断メニュー

「リソース将来予測」「SSD 寿命予測」「構成情報診断」のリンクを押すことで各種診断結果の詳細画面へ遷移します。なお、各種診断メニューのリンクは診断結果が存在する場合のみ表示されます。

3.1.3 診断月情報

掲載している各種診断結果を実施した診断月を示します。

3.1.4 お知らせ

次回の診断結果掲載予定日、本サービスに関するお知らせを掲載します。

3.1.5 更新ボタン・全画面表示ボタン

それぞれページ左上のボタン「②」は更新、画面右のボタン「□」は全画面表示が可能です。

3.2 リソース将来予測

3.2.1 一覧表示

この画面では、サーバごとのリソース状態を一覧形式でご確認いただけます。

状態^	サポートID 🖡	お客様名	システム名	製品型番	製造番号
⊘正常	342458385	*********	math > 2.7 ± 4	PC-MR33ME2CE	\$1085110A
⊘正常	362458385		$mast \succ X \mathcal{T} \doteq \mathbb{R}$	PC-MR33ME2CE	\$1085112A
★注意	362458385	med 2 8 8 8 8	$mast > 3.7 \pm 6$	PC-MR33ME2CE	\$1085111A
●対象外	362+58385	med 2 8 2 8 8	$mast > 3.7 \pm 6$	PC-MK32M6201	AZMISLOLA
●対象外	362458385	ment 2 8 2 2 4	$mast > 2.7 \pm 6$	PC-MK32MB2D7	629951064
● 対象外	362458385	ment 2 (2 2 4 4	$mast > 2.7 \pm 6$	PC-MK32MB2DT	62995107A

- 1. サポート ID による絞り込み
- 2. サーバ一覧
- 3. 前の画面へ戻る・更新・全画面表示ボタン

3.2.1.1 サポート ID による絞り込み

プルダウン内からサポート ID 選択することで、該当するサポート ID に紐づくサーバの結果のみを表示 することができます。

		リソ	ース将来予測 		58:
サポートID					
ID-すべて					~
ID-すべて	march Te 2 2 5.	mastンステム系			
状態	サポートID 🗘	お客様名	システム名 🗘	製品型番↓	製造番号 よ
⊘正常	362458385		ment> 2.7 L &	PC-MK33ME2CE	5+045110A

3.2.1.2 サーバー覧

サーバごとにリソース将来予測の結果を表示します。画面中の状態アイコンをクリックすることでリ ソース種別ごとの将来予測結果を確認できます。 ユーザが閲覧可能なサーバが多数存在する場合、一覧が複数ページにわたる場合があります。次のページに遷移する場合は「♪」ボタン、前のページに遷移する場合は「く」ボタンをクリックしてください。ページ数を指定する場合は、閲覧したいページをクリックしてください。

サーバー覧の状態・サポート ID・お客様名・システム名・製品型番・製造番号は、昇順または降順のソートが可能です。ソートする場合はソートしたい列名をクリックしてください。昇順にソートされている 状態では列名右側に「▲」、降順ソートされている状態では列名右側に「▼」が表示されます。

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	AI によるリソース	将来予測の結果、診断月から 6 か月先におけるリソース稼働状況を
	示します。	
	各アイコンの重要度	とは、「注意」「観察」「正常」「対象外」の順です。
	サーバー覧で表示さ	れる状態は、サーバに搭載されている各リソースの状態のうち、
	一番重要度が高い状	、態を掲載しています。たとえば、CPU 使用率の診断結果が「観
	察」状態でそれ以外	トのリソースが「正常」の場合は、サーバ一覧上では「観察」状態
	として表示されます	
	また、サーバー覧上	この状態アイコンをクリックすることで、サーバごとの詳細結果を
	確認できます。	
	アイコン	概要
	✓正常	リソースの稼働状況に問題が見つからない状態です。
		リソースが要観察の状態です。
		この状態が数か月間継続する場合、リソースに対して何らかの対
状態		処実施を推奨します。
	観祭	例:ディスクの使用量が警告状態
		対処:ディスクの残容量が減少しています。観察状態が数か月間
		継続する場合は、ディスクの増強を検討してください。
		リソースが注意状態です。この状態が継続する場合は、保守員へ
		連絡することを推奨します。
	★注意	例:ディスクの使用量が注意状態。
		対処: ディスクの容量が枯渇している可能性があります。保守員
		へ連絡してください。
		診断するためのデータがない、もしくはデータ量が少ない等の理
		由により、診断の対象外となったサーバです。
	日対象外	リソース将来予測には、最低1か月分の稼働状況データが
		必要です。データ量が不足している際は、1 か月以上、
		稼働状況データを蓄積することで診断が可能になります。
サポート ID	サーバに紐づくサオ	ペート ID

お客様名	サポート ID に紐づく企業名
システム名	サポート ID に紐づくシステム名
製品型番	サーバの製品型番
製造番号	サーバの製造番号(シリアル No.)

3.2.1.3 前の画面へ戻る・更新・全画面表示ボタン

ページ左上のボタン「う」は1つ前の画面へ戻る、中央のボタン「ご」は更新、画面右のボタン「ご」は 全画面表示する場合にクリックします。

3.2.2 詳細結果

この画面では、サーバごとにリソース将来予測の診断結果の詳細を確認できます。



1.選択サーバ

2.診断結果

3.閉じるボタン

3.2.2.1 選択サーバ

リソース将来予測の結果を表示しているサーバの情報を表示します。各項目の内容は、「3.2.1.2 サーバ 一覧」を参照ください。

3.2.2.2 診断結果

リソースごとに6か月先のリソース稼働状況、診断結果およびコメントを表示します。

リソース種別の選択

表示するリソース種別および予測期間が表示されます。

リソース種別は以下から選択できます。

- ・CPU 使用率
- ・メモリ使用率
- ・ディスク容量(ドライブごと)

			結果	-
リソース種別	注意:CPU使用率	~		
	注意:CPU使用率 正常:メモリ使用率		実測値 予測値	
100 90	正常:ディスク使用率 C 注音:ディスク使用率 D			
80				

予測グラフ

AI を用いて過去のサーバの稼働傾向を分析し、その結果を用いて診断月から 6 か月先までのリ ソース稼働状況を予測した結果です。

グラフの縦軸が各リソース種別の値、横軸が6か月先までの日時を示します。 グラフは診断月以前が稼働実績、診断月以降が稼働予測を示します。

過去の稼働状況を分析しているため、運用やサーバの用途を変更した場合、予測結果が実際の運 用と乖離する場合があります。



リソース使用率

診断結果および診断コメント診断結果および診断コメント

診断結果の各アイコンの示す状態は、「3.2.1.2 サーバー覧」を参照してください。 診断コメントは、診断結果を受けサーバの状態および注意事項を記載しています。 ※対処内容はあくまで推奨事項であり、必ずしもサーバ状況改善に繋がるとはかぎりません。

診断コメント 現状は「注意」状態にありますが、使用率が減少傾向となっています。今後、半年の間で「正常」状 態に推移することが予想されております。	診断コメント 現状は「注意」状態にありますが、使用率が減少傾向となっています。今後、半年の間で「正常」状 態に推移することが予想されております。 現状の使用率が想定した使用率を超えている場合は問題が発生するリスクがありますので、要因の特	診断結果 × 注意	
現状は「注意」状態にありますが、使用率が減少傾向となっています。今後、半年の間で「正常」状 態に推移することが予想されております。	現状は「注意」状態にありますが、使用率が減少傾向となっています。今後、半年の間で「正常」状 態に推移することが予想されております。 現状の使用率が想定した使用率を超えている場合は問題が発生するリスクがありますので、要因の特	診断コメント	
態に推移することが予想されております。	態に推移することが予想されております。 現状の使用率が想定した使用率を超えている場合は問題が発生するリスクがありますので、要因の特	現状は「注意」状態にありますが、	使用率が減少傾向となっています。今後、半年の間で「正常」状
	現状の使用率が想定した使用率を超えている場合は問題が発生するリスクがありますので、要因の特	態に推移することが予想されており	ります。

3.2.2.3 閉じるボタン

リソース将来予測の詳細結果画面を閉じます。

3.3SSD 寿命予測

3.3.1 一覧表示

この画面では、サーバもしくは SSD ごとの状態を一覧形式でご確認いただけます。

状態 *	サポートID 🗘	お客様名	システム名 🗘	製品型番	製造番号
▲ 警告	362458385		$\operatorname{sum}(1) \geq T \geq \frac{K}{2}$	PC-MK33ME2CE	SYDRULDA.
● 対象外	342+54345	100000-002-0-0-0	math 2.7.2.6	PC-MR33MEZCE	01085112A
● 対象外	162454365	ment (1 (2 (2 (4 (4	$mast > 7.7 \pm 6$	PC-MR30ME20E	SYDRELLIA
● 対象外	362458385	$\operatorname{constat} 0 \ge 0 \ge 0.5$	$\mathrm{maxt} > 2.7 \pm 0.$	PC-MH32M62D7	121011054
● 対象外	342458385	10012-012-0-0	math 2744	PC-MR32M82D1	629951078

- 1. サポート ID による絞り込み
- 2. サーバー覧 / SSD 一覧
- 3. 前の画面へ戻る・更新・全画面表示ボタン

3.3.1.1 サポート ID による絞り込み

プルダウン内からサポート ID 選択することで、該当するサポート ID に紐づくサーバの結果のみを表示できます。

		SS	D寿命予測 ——		980
サポートID					
ID-すべて					~
ID-すべて	化化合金合金合金	mastンステム毛			
状態	サポートID 🗘	お客様名	システム名 🗘	製品型番 ↓	製造番号 ↓
⊘正常	362458385	$\max z \in \mathbb{C} \subset \max$	$mast > 3.7 \pm 6$	PC-MK33ME2CE	\$Y095110A

3.3.1.2 表示形式

SSD 寿命予測では、「サーバー覧」もしくは「SSD 一覧」にて状態を確認できます。表示形式は、プル ダウンから選択することで切り替えることができます。「SSD 一覧」では、搭載されているサーバに関 係なく、全 SSD を一覧形式で確認いただくことができます。「サーバー覧」の表示内容は「3.3.1.3 サー バー覧」、「SSD 一覧」の表示内容は、「3.3.1.4SSD 一覧」を参照ください。

		SS	D寿命予測 ——		500
┃ サポートID					
ID-すべて		_			~
表示形式	サーバー覧	~			
状態	ザーハー 見 SSD一覧	お客様名	システム名	製品型番	製造番号
▲警告	362458385	ment 2 8 8 8 8	$mast > 2.7 \pm 6$	PC-MH33ME2CE	\$Y095110A
● 対象外	362458385	mark 2 8 8 8 8	$mast > 3.7 \pm 6$	PC-MK33ME2CE	\$Y\$95112A
● 対象外	362458385	rant 2 8 2 2 5	$mast \succ 2.7 \pm 6$	PC-MH33ME2CE	\$1085111A

3.3.1.3 サーバー覧

サーバごとに SSD 寿命予測の結果を表示します。画面中の状態アイコンをクリックすることで SSD 寿 命予測結果を確認できます。

ユーザが閲覧可能なサーバが多数存在する場合、一覧が複数ページにわたる場合があります。次のページに遷移する場合は「♪」ボタン、前のページに遷移する場合は「く」ボタンをクリックしてください。ページ数を指定する場合は、閲覧したいページをクリックしてください。

サーバー覧の状態・サポート ID・お客様名・システム名・製品型番・製造番号は、昇順または降順のソートが可能です。ソートする場合はソートしたい列名をクリックしてください。昇順にソートされている状態では列名右側に「▼」が表示されます。

		概要
	SSD 寿命予測の結果	果、診断月から1年先における SSD 寿命到達度の状態を示し
	ます。各アイコンの	D意味は下記のとおりです。
	各アイコンの重要度	[は、「異常」 「警告」 「データ蓄積中」 「正常」 「対象外」 の順
	です。	
	なお、サーバ一覧て	で表示される状態は、サーバに搭載されている各 SSD の状態
	のうち、一番重要度	が高い状態を掲載しています。たとえば、搭載されている
	SSD のうち 1 台が	「警告」状態で、それ以外の SSD が「正常」の場合はサーバ
	一覧上では「警告」	状態として表示されます。
	また、サーバー覧上	この状態アイコンをクリックすることで、サーバごとの詳細結
	果を確認できます。	
状態	アイコン	概要
	●正常	今後1年間、寿命到達度90%を超える可能性は低いです。
		今後1年以内に寿命到達度90%に達することが予測されま
	1 警告	す。運用に影響がないように、早めの SSD 交換をご検討く
		ださい。
	✔︎毘⇔	現時点で寿命到達度 90%に達しています。 運用に影響がな
	А дт	いように、早急な SSD 交換をご検討ください。
		現時点では寿命到達度 90%には達していません。また、予
	チデータ蓄積中	測をするためのデータが蓄積しきれていない状態です。1か
		月分のデータが蓄積されたのち、予測が開始されます。
		診断するためのデータがない(SSD が搭載されていない)等の
	AN SKAL	理由により、診断の対象外となったサーバです。

サポート ID	サーバに紐づくサポート ID
お客様名	サポート ID に紐づく企業名
システム名	サポート ID に紐づくシステム名
製品型番	サーバの製品型番
製造番号	サーバのシリアル番号(シリアル No.)

3.3.1.4SSD 一覧

SSD ごとに寿命予測の結果を表示します。画面中の状態アイコンをクリックすることで詳細結果を確認できます。

ユーザが閲覧可能なサーバが多数存在する場合、一覧が複数ページにわたる場合があります。次のページに遷移する場合は「♪」ボタン、前のページに遷移する場合は「く」ボタンをクリックしてください。ページ数を指定する場合は、閲覧したいページをクリックしてください。

サーバー覧の状態・サポート ID・お客様名・システム名・製品型番・製造番号は、昇順または降順のソートが可能です。ソートする場合はソートしたい列名をクリックしてください。昇順にソートされている状態では列名右側に「▼」が表示されます。

		概要		
	SSD 寿命予測の	結果、診断月から1年先における寿命到達度の状態を示しま		
	す。各アイコンの詳細は「3.3.1.3 サーバー覧」をご確認ください。			
	※状態が「対象外」の場合のみ詳細が異なります。			
	なお、サーバー	覧で表示される状態は、サーバに搭載されている各 SSD の状態		
状態	のうち一番重要度が高い状態を示します。SSD 一覧で表示される状態は、各			
	SSD の状態を示します。			
	また、SSD 一覧上の状態アイコンをクリックすることで、詳細結果を確認でき			
	ます。			
	日対象外	サーバに SSD が搭載されていることは確認できますが、何ら		
	A 1342	かの理由により寿命情報が収集されていない SSD です。		
製品型番	サーバの製品型番			
製造番号	サーバのシリアル番号			
SSD 搭載位置	当該 SSD の搭載	뷫位置を示します。		
寿命到達度	SSD の寿命到達	度を示します。		
寿命進行度	現在の運用方法	をもとに予測した、寿命に至るまでの速さ(%/年)を示します。		

3.3.1.5前の画面へ戻る・更新・全画面表示ボタン

それぞれページ左上のボタン「う」は1つ前の画面へ戻る、中央のボタン「こ」は更新、 画面右のボタン「!!」は全画面表示が可能です。



3.3.2 詳細結果

この画面では、サーバごとに SSD 寿命予測の診断結果の詳細を確認できます。

× 3 SSD寿命予測 選択サーバ 1 サポートID お客様名 システム名 製品型番 製造番号 successive and 2 結果 SSD選択 正常: Port 11 Box 3 Bay 4 🗸 SSD製造番号 SSDモデル名 SSD搭載位置 1000 1.0.001 100.0 Port 1I Box 3 Bay 4 1000 10.014 実測値 🔤 予測値 100 80 度(%) 60 留後 40 20 0231010 00231020 223102108 023/04/12 2024/0221 診断結果 × 異常 診断コメント SSD書き込み寿命は異常レベルです。直ちに対処をご検討ください。

1.選択サーバ

2.診断結果

3.閉じるボタン

3.3.2.1 選択サーバ

現在、SSD 寿命予測の結果を表示しているサーバの情報を表示します。各項目の内容は、「3.3.1.3 サーバー覧」を参照してください。

3.3.2.2 診断結果

SSD ごとに1年先までの寿命到達度、診断結果およびコメントを表示します。

SSD の選択

SSD の搭載位置から、診断結果を表示する SSD を選択できます。

			結果	-	
SSD選択	正常:Port 1I Box 3 Bay 1	~			
	正常:Port 1I Box 3 Bay 1				
SSDモデル	正常:Port 1I Box 3 Bay 2	製造番号		SSD搭載位置	

予測グラフ

診断月から1年先までの寿命到達度の推移を表示します。グラフの縦軸が寿命到達度、横軸が1 年先までの日時を示します。グラフは診断月以前が稼働実績、診断月以降が稼働予測を示します。



診断結果および診断コメント

診断結果の各アイコンの示す状態は、「3.3.1.3 サーバ一覧」を参照してください。 診断コメントは、SSD の書き込み寿命到達度の状態および注意事項を記載しています。 ※対処内容はあくまで推奨事項であり、必ずしもサーバ状況改善に繋がるとはかぎりません。

診断結果 🗙 異常	
診断コメント	
SSD書き込み寿命は異常レベルです。	直ちに対処をご検討ください。

3.3.2.3 閉じるボタン

SSD 寿命予測の詳細結果画面を閉じます。

3.4 構成情報診断

3.4.1 一覧表示

この画面では、サーバごとの状態を一覧形式でご確認いただけます。

状態 🔺	サポートID 🗘	お客様名	システム名 🗘	製品型番	製造番号
リスク中	-		-	-	-
リスク中			-	-	-
対象外			100100		-
対象外					
対象外	-				-
寸象外					

- 1. サポート ID による絞り込み
- 2. サーバ一覧
- 3. 前の画面へ戻る・更新・全画面表示ボタン

3.4.1.1 サポート ID による絞り込み

プルダウン内からサポート ID 選択することで、該当するサポート ID に紐づくサーバの結果のみを表示できます。

		構	成情報診断 ———		560
サポートID					
ID-すべて					~
ID-すべて		nastiv X P & &			
状態 ▲	サポートID 🗘	お客様名	システム名 🗘	製品型番	製造番号 🗘
⊘正常	362458385	mant.2 8 2 8 8	$mast > 2.7 \pm 6$	PC-MR33ME2CE	5+085110A

3.4.1.2 サーバー覧

サーバごとに構成情報診断の結果を表示します。画面中の状態アイコンをクリックすることでサーバご との診断結果を確認できます。

ユーザが閲覧可能なサーバが多数存在する場合、一覧が複数ページにわたる場合があります。次のページに遷移する場合は「♪」ボタン、前のページに遷移する場合は「く」ボタンをクリックしてください。ページ数を指定する場合は、閲覧したいページをクリックしてください。

サーバー覧の状態・サポート ID・お客様名・システム名・製品型番・製造番号は、昇順または降順のソートが可能です。ソートする場合はソートしたい列名をクリックしてください。昇順にソートされている 状態では列名右側に「▲」、降順ソートされている状態では列名右側に「▼」が表示されます。

	概要			
	サーバに搭載されているファームウェア(「System ROM」、「iLO ファームウェ			
	ア」)のアップデートの有無と脆弱性に関するセキュリティリスクの状態を示しま			
	す。各アイコンの意味は下記のとおりです。			
	各アイコンの重要度は、「リスク高」「リスク中」「リスク低」「正常」「不明」「対			
	象外」の順です。			
	なお、サーバー覧で表示される状態は、サーバに搭載されている各ファームウェ			
	ア(「System ROM」、「iLO ファームウェア」)の状態のうち、一番重要度が高い			
	状態を掲載しています。たとえば、「System ROM」が「リスク低」、それ以外の			
	ファームウェアが「正常」の場合は、サーバー覧上では「リスク低」状態として			
	表示されます。			
	また、サーバー覧上の状態アイコンをクリックすることで、サーバごとの詳細結			
	果を確認できます。			
状態	アイコン	概要		
	✓正常	ファームウェアは最新の状態です。		
		ファームウェアのアップデートが存在します。脆弱性に対応		
		した更新(CVSS v3 基準値 2.9 以下(深刻度 : 注意))が含ま		
		れている、もしくは脆弱性に対応した更新は含まれていない		
	🛕 リスク低	が最新バージョンではない状態です。脆弱性に対応した更新		
		の有無に関しては、診断コメントにてご確認いただけます。		
		リスク回避・低減のために、ファームウェアのアップデート		
		を推奨します。		
		ファームウェアのアップデートが存在します。脆弱性に対応		
	▲ リスク中	した更新(CVSS v3 基準値 4.0 ~ 6.9 (深刻度:警告))が含		
		まれています。リスク回避・低減のために、ファームウェア		
		のアップデートを推奨します。		



		ファームウェアのアップデートが存在します。脆弱性に対応
		した更新(CVSS v3 基準値 7.0 以上(深刻度 : 緊急または重
	▶リスク高	要))が含まれています。
		リスク回避・低減のために、ファームウェアのアップデート
		を推奨します。
		公開されていないバージョンが適用されています。
	主 不明	ファームウェアのアップデートの必要性については、保守員
		または、担当営業に確認してください。
		診断するためのデータがない等の理由により、診断の対象外
	A Sator	となったサーバです。
サポート ID	サーバに紐づくサオ	^ポ ート ID
お客様名	サポート ID に紐づ	く企業名
システム名	サポート ID に紐づ	くシステム名
製品型番	サーバの製品型番	
製造番号	サーバのシリアル番	号

3.4.1.3 前の画面へ戻る・更新・全画面表示ボタン

それぞれページ左上のボタン「う」は1つ前の画面へ戻る、中央のボタン「つ」は更新、 画面右のボタン「こ」は全画面表示が可能です。

3.4.2 詳細結果

この画面では、サーバごとに構成情報診断の詳細結果を確認できます。

			選択サ	-11		
サポートID	お客様名	i	システム名		휒品型쑠	製造番号
342+54385	-		$mast \succ 3.9$	L& PC-MH33	MEZCE	510951104
			結界	R		
ファームウェ	±7					
種別	重要皮	現パージョン	最新パージョン	公開URL(最新)		
System ROM	リスク 高	v2.58	v2.68	https://www.support. NoClear=on&id=9010	nec.co.jp/View.; 110528	aspx?
iL0ファーム ウェア	リスク 低	2.55	2.72	https://www.support. NoClear=on&id=9010	nec.co.jp/View.a 110528	aspx?
リスク回避	応した更業 ・低減の7	昕(CVSS v3 基3 とめに、ファー	単値7.0以上(深刻 ・ムウェアのアッ	度:緊急または重要 プデートを推奨しま))があります す。	°
加341日に内 リスク回避 脆弱性に関す	応した更親 ・低減の [†] ・ る変更内	所(CVSS v3 基3 とめに、ファー 客 System R	単値7.0以上(深刻 ・ムウェアのアッ OM く	度:緊急または重要 プデートを推奨しま	:))があります す。	r.
10.3 12(2) パージョン	応した更発 ・低減の1 ・ る変更内 重要度	所(CVSS v3 基) とめに、ファー 容 System R 変更内容	単値7.0以上(深刻 -ムウェアのアッ OM ✔	l度:緊急または重要 プデートを推発しま	:))があります す。	·.
10.3 (E(K)) リスク回避 脆弱性に関す パージョン v2.66	応した更発 ・低減の ・ る変更内 重要度 リスク高	所(CVSS v3 基) とめに、ファー 容 System R 変更内容 OpenSSLのセイ	単値7.0以上(深刻 ・ムウェアのアッ OM ✓	度:緊急または重要 プデートを推奨しま /E-2022-2068)に対応しま))があります す。 した。	- -
ALEST (EICA) リスク回避 脆弱性に関す パージョン v2.68 v2.68	応した更新 ・低減の 「る変更内 重要度 リスク高 リスク高	新CCVSS v3 基注 とめに、ファー 客 System R g更内容 OpenSSLのセ ⁴ FreeTypeティフ CVE-2022-274	単値7.0以上(深刻 ムウェアのアッ OM ✓ * = リティ能弱性(CV プラリのセキュリティ 06)に対応しました。	度:緊急または重要 プデートを推奨しま /E-2022-2068)に対応しま (最弱性(CVE-2022-2740))))があります す。 した。 &、CVE-2022-2:	7405,
ALEST (EICA) リスク回避 読弱性に関す パージョン V2.68 V2.68 2.66	応した更新 ・低減の うる変更内 重要度 リスク高 リスク高 リスク高	ff(CVSS v3 基注 ために、ファー 客 System R 変更内容 OpenSSLのセゼ PreeTypeそイフ CVE-2022-274 OpenSSLのセゼ	単値7.0以上(深刻 ムウェアのアッ OM ✓ *=リティ能特性(C(ブラリのセキュリティ 06)に対応しました。 *=リティ能特性(C(度:緊急または重要 プデートを推測しま /E-2022-2068)に対応しま /E-2022-0778、CVE-202)))があります す。 した。 4、CVE-2022-21 2-1292)に対応し	7405. 2 & L 72.
acaster(スパ リスク回避 脆弱性に関す パージョン v2.66 v2.68 2.66 2.66	応した更更 ・低減のプ 重要度 リスク高 リスク高 リスクー リスク中	ff(CVSS v3 基) とめに、ファー 客 System R 変更内容 OpenSSLのセ4 FreeType手く了 CVE-2022-274 OpenSSLのセ4 LibPngのセキ :	単値7.0以上(深刻 ムウェアのアッ OM ✓ *ュリティ能将性(CV がヨリのセキュリティ 06)に対応しました。 *ュリティ能将性(CV 2.1)ティ能特性(CV	皮:緊急または重要 プデートを推興しま /E-2022-2068)に対応しま /E-2022-0758、CVE-202 /2019-7317)に対応しまし))があります す。 した。 、CVE-2022-21 と-1292)に対応し た。	7405. - & L 7c.
 10.3 (2 × 5) 10.3 (2 × 5) 10.4 (2 × 5) 10.	応した更更 ・低減のガ る変更内 リスク高 リスク高 リスク高 リスク南 リスク南	新CVSS v3 基3 にめに、ファー 家 System R 変更内容 OpenSSLのセイ CVE-2022-274 OpenSSLのセイ 2015-002-274 OpenSSLのセイ 2015-002-274	単値7.0以上(深刻 ムウェアのアッ OM ✓ * = リティ能弱性(CV * = リティ能弱性(CV = リティ能弱性(CVE = リティ能弱性(CVE 品リティ能弱性(CVE	度:緊急または重要 プデートを推測しま /E-2022-2068)に対応しま /E-2022-0778、CVE-2022 -2019-7317)に対応しまし 801)に対応しました。))があります す。 した。 L, CVE-2022-21 L, CVE-2022-21 C-1292)に対応し た。	7405, L&L72,
ALSI (エバス) リスク回避 読録性に関す パージョン V2.58 2.65 2.65 2.65 2.65 2.64	応した更更 ・低減のガ ・低減のガ ・気変更内 重要度 リスク高 リスク高 リスク高 リスク高 リスク両 リスク中 リスク中	新(CVSS v3 基3) にめに、ファー 家 System R 文更内容 OpenSSLのセイ PreaType5イラ CVE-2022-274 OpenSSLのセイ LibPngのセキョ セキュリティ別 インテル(R) Xe セキュリティ別	単値7.0以上(深刻 ムウェアのアッ のM ・ ユリティ能弱性(CV プラリのセキュリティ の5)に対応しました。 ホ ユリティ能弱性(CVE) 弱性(INTEL-SA-000 con(2) スケーラブル(弱社(INTEL-SA-000)	度:緊急または重要 プデートを推進しま /E-2022-2068)に対応しま ・ 単係性(CVE-2022-2740) /E-2022-0778、CVE-2022 -2019-7317)に対応しまし 801)に対応しました。 - プロセッサーのマイク1 515)に対応しました。))があります す。 した。 に、OVE-2022-22 2-1292)に対応し た。 ニュードを更新	r。 7405、 」ました。 しました。
AL SI J L C / J リスク回避 第7 - ジョン v2 56 2.66 2.66 2.66 2.64 2.64	応した更更 ・低減のガ この 「 した更のガ 「 この この この この この この この この この この	<pre>f(CVSS v3 基3) とめに、ファー 客 System R 変更内容 OpenSSLのセ4 FreeTypeチイラ CVE-2022-274 OpenSSLのセ4 LibPngのセキュ セキュリティ前 インテル(R) Xe セキュリティ前 zlibテイブテリ</pre>	単値7.0以上(深刻 ムウェアのアッ OM ・ エリティ能弱性(C) ・ エリティ能弱性(C) シリティ能弱性(C) に、 ・ エリティ能弱性(C) ・ エリティ ・ エリティ ・ エリティ ・ ポリティ ・ ポリ ・	皮:緊急または重要 プデートを推進しま /E-2022-2068)に対応しま (単応性(CVE-2022-2740) /E-2022-0778、CVE-202 -2019-7317)に対応しまし 501)に対応しました。 ・プロセッサーのマイク 516)に対応しました。 性(CVE-2018-25032)に対))があります す。 した。 2-1292)に対応し た。 ニュードを更新 応しました。	r。 7405、 」ました。 」ました。
AL SI J L C / J リスク回避 読録性に関す パージョン V258 2.66 2.66 2.66 2.64 2.62	応した減更の パ 「 な変更の りスク高 リスク高 リスク高 リスク高 リスク高 リスク高 リスク高 リスク高	新CVSS v3 基3 にめに、ファー 客 System R を更内容 OpenSSLのセ4 FreeTypeキイ5 CVE-2022-274 OpenSSLのセ4 LibPngのセキュ セキュリティ別 インテル(R) Xe セキュリティ別 にしまってがり、 NTのセキュリ NTEL-SA-005 CVE-2021-011 CVE-2021-012	単値7.0以上(深爽 よウェアのアッ OM * エリティ能弱性(C) * エリティ * エーリ * エーレ * エーリ * エーレ *	皮:緊急または重要 プデートを推測しま /E-2022-2068)に対応しま (単応性(CVE-2022-2740) /E-2022-0778、CVE-2022 -2019-7317)に対応しました。 -2019-7317)に対応しました。 -2019-7317)に対応しました。 -2019-7317)に対応しました。 (VE-2022-0178、CVE-2022)に対 くした。 9、CVE-2021-0108、CVE-)))があります す。 した。 た、CVE-2022-21 た。 ニュードを更新 によした。 -2021-0107、C 2021-0117、CV	T→ 7405、 レネレた。 レネレた。 VE-2021-0111、 (F-2021-0118、

1.選択サーバ

2.診断結果

3.閉じるボタン

3.4.2.1 選択サーバ

現在、構成情報診断の結果を表示しているサーバの情報を表示します。各項目の内容は、「3.4.1.2 サーバー覧」を参照してください。

3.4.2.2 診断結果

ファームウェア(「System ROM」、「iLO ファームウェア」)の診断結果の詳細を確認できます。

現バージョンと最新バージョンの比較、最新バージョンの公開 URL

現在利用しているバージョンおよび最新のバージョンを表示します。また、最新バージョンの ファームウェアは、公開 URL から取得することができます。

		m		0.00000000000
6K.51	R	親バージョン	最新パージョン	STRUKL(BRR)
System ROM	ā	v2.36	v2.68	https://www.support.nec.co.jp/View.sspx7 NoClesr=on&id=9010110528
L077=47	8	2.31	2.72	https://www.support.nec.co.jp.View.aspx?

診断結果および診断コメント

診断結果の各アイコンの示す状態は、「3.4.1.2 サーバー覧」を参照してください。

診断コメントや脆弱性に関する変更内容をご確認の上、最新のファームウェアへアップデートすることを推奨します。

診断コメント 施粉性に対応した更新(CVSS v3 基準値7.0以上(深刻度:緊急または重要))があります。 リスク回避・低減のために、ファームウェアのアップデートを提奨します。	

脆弱性に関する変更内容

脆弱性に関する更新内容および各内容の重要度を一覧表示します。

変更内容は、「System ROM」または「iLO ファームウェア」から選択できます。

脆弱性に関	する変更内容	容 System ROM 🗸
		System ROM
パージョン	重要度	iLOファームウェア
v2.68	リスク高	OpenSSLのセキュリティ脆弱性(CVE-2022-2068)に対応しました。
v2.68	リスク高	FreeTypeライブラリのセキュリティ脆弱性(CVE-2022-27404、CVE-2022 CVE-2022-27406)に対応しました。

パージョン	重要度	変更内容
v2.68	リスク高	OpenSSLのセキュリティ脆弱性(CVE-2022-2068)に対応しました。
v2.68	リスク高	FreeTypeライブラリのセキュリティ脆弱性(CVE-2022-27404、CVE-2022-27405、 CVE-2022-27406)に対応しました。
2.66	リスク高	OpenSSLのセキュリティ脆弱性(CVE-2022-0778、CVE-2022-1292)に対応しました。
2.66	リスク中	LibPngのセキュリティ脆弱性(CVE-2019-7317)に対応しました。
2.66	リスク高	セキュリティ脆弱性(INTEL-SA-00601)に対応しました。
2.04	リスク中	インテル(R) Xeon(R) スケーラブル・デニヒッリーの、イクロコードを更新しました。 セキュリティ脆弱性(MFCL-SA-00010)に対応しました。
2.64	リスク高	zlibライブラリのセキュリティ脆弱性(CVE-2018-25032)に対応しました。
2.62	リスク高	以下のセキュリティ脆弱性に対応しました。 INTEL-SA-00527 (CVE-2021-0099、CVE-2021-0103、CVE-2021-0107、CVE-2021-0111 CVE-2021-0114、CVE-2021-0115、CVE-2021-0116、CVE-2021-0117、CVE-2021-0118、 CVE-2021-0125、CVE-2021-0124)
v2.60	リスク中	以下のセキュリティ脆弱性に対応しました。

3.4.2.3 閉じるボタン

構成情報診断の詳細結果画面を閉じます。

4.お問い合わせ先

サーバ稼働分析サービスのお問い合せは以下メールアドレスまでお願いします。

- サーバ稼働分析サービスのお申し込みに関するお問合わせ先 karute-uketuke@express.jp.nec.com
- サーバ稼働分析サービスの内容・参照方法に関するお問い合わせ先 analysis-uketuke@express.jp.nec.com
- MyDashboard に関するお問い合わせは、MyDashboard 内の問い合わせフォームを利用してください。

以上